

令和5年度  
第2回学校防災アドバイザー連絡協議会資料



地域連携型学校防災体制等構築推進事業実践研究協力校  
富谷市立富ヶ丘小学校  
研究主任 阿部 太輔

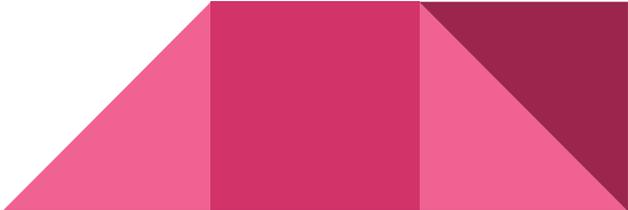
## 本日の発表内容

(1)はじめに

(2)「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」における実践研究報告書

- ① 地域や関係機関等と連携した学校防災マニュアルの見直し及び避難訓練の実施
- ② 地域と連携した災害特性を共有するワークショップ等の実施
- ③ 教職員の災害対応力を養成する校内研修等の実施
- ④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

(3)成果と課題・今後に向けて



# (1)はじめに

## ・富谷市立富ヶ丘小学校について



出典 Map-It マップイット | 地図素材サイト

- ・全校児童数 500人(R5. 5月1日現在)
- ・学級数 17学級
- ・教職員数 30人

- ・4つの地区  
富ヶ丘南部地区  
富ヶ丘北部地区  
鷹乃杜 地区  
上桜木 地区

- ・進学先  
富谷市立富谷第二中学校  
富谷市立日吉台中学校

- ・校舎  
県立利府支援学校富谷校も利用



# (1)はじめに

## ・富谷市立富ヶ丘小学校について

- ★本校東側(水道局用地(仙台市水道局管財課)のり面)
- ★本校敷地一部
- ★学区内数カ所

⇨ **土砂災害特別警戒区域** / **土砂災害警戒区域**



出典 Map-It マップイット | 地図素材サイト

出典 富谷市洪水・土砂災害ハザードマップ

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ① 地域や関係機関等と連携した学校防災マニュアルの見直し及び避難訓練の実施

ア) 5月1日(月)引き渡し訓練



- ☀ 土砂災害を想定し、保護者来校ルートの変更
- ☀ 町内会長視察
- ☀ 町内会長・市教委・学校防災アドバイザーで協議

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ① 地域や関係機関等と連携した学校防災マニュアルの見直し及び避難訓練の実施

#### イ) 10月29日(日)富谷市総合防災訓練へ参加



- ☀ 児童は、保護者と各自の一次避難所へ避難(自分の一次避難所を覚える)
- ☀ 各一次避難所での防災訓練・活動に参加
- ☀ 本校体育館での防災訓練(バケツリレー・炊き出し訓練)

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ② 地域と連携した災害特性を共有するワークショップ等の実施

#### ア) 本校学区の災害特性について



☀ 本校職員研修会に、町内会長・市教委も参加

☀ もともと山だった場所を切り開いた団地 ⇨ 基本的に地震には強い

💡 過去には「ため池」「山間部の『谷』」⇨ 必ずしも強いとは言えない場所も

# (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

## ② 地域と連携した災害特性を共有するワークショップ等の実施

### イ) 「防災教育だより」の発行



🌟 毎月1回の発行

🌟 保護者・町内会にメール配信／本校ホームページにて公開

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ③ 教職員の災害対応力を養成する校内研修等の実施

ア) 4月春休み 防災マニュアル読み合わせ

イ) 4月春休み 学区内危険箇所現場確認



☀ 富谷市洪水・土砂災害ハザードマップを基に、全職員が現場確認

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ③ 教職員の災害対応力を養成する校内研修等の実施

ウ) 学校防災アドバイザーからの指導(宮城教育大学 林田由那先生, 東北大学 柴山寛明先生)

①	5月 1日(月)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 地震想定避難訓練, 引き渡し訓練(屋外)を振り返って</li><li>○ 本校学区の災害特性(町内会長・市教委参加)</li></ul>
②	6月16日(金)	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 引き渡し訓練の反省・次回の訓練に向けて</li><li>○ 防災グッズを活用した防災学習について</li></ul> <div data-bbox="703 615 1157 958"></div> <div data-bbox="1205 615 1659 958"></div>

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ③ 教職員の災害対応力を養成する校内研修等の実施

ウ) 学校防災アドバイザーからの指導(宮城教育大学 林田由那先生, 東北大学 柴山寛明先生)

③	8月23日(水)	○ 全校授業研に向けての事前検討会(対面・オンライン)
④	9月 6日(金)	○ 全校授業研リフレクション
⑤	9月 6日(金)	○ 指導主事学校訪問提供授業 事前検討会
⑥	11月17日(金)	○ 火災想定避難訓練・引き渡し訓練(屋内)を振り返って

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ③ 教職員の災害対応力を養成する校内研修等の実施

エ) 11月17日(金)緊急事態を想定した避難訓練(3校時)の実施

☀ 業間時間に、担任が「くじ」

☀ 火災想定直前に、くじを開封

※ くじの中身「足を骨折している児童1名」

「火災発生に驚いて動けなくなった児童1名」

「特になし」 など

☀ 火災発生場所に近い学級・学年 ⇨ 避難指示放送前に避難

☀ 担任同士が声を掛け合い、避難(動けない児童を担ぐなど)



## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ③ 教職員の災害対応力を養成する校内研修等の実施

#### オ) 震災遺構石巻市立門脇小学校 訪問



☀ 語り部ガイド 震災当時同小学校長 鈴木 洋子 氏

☀ 参加者の感想(一部)

鈴木洋子先生の話が胸に響きました。私たちも普段から避難訓練を真剣に行っているけれども、それ以上の真剣さを子供たちにも伝え、感じる時間を作りたいと思いました。

## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

ア) 6月30日(金)震災遺構仙台市立荒浜小学校訪問(6年生)



揺れが3分間も続いたことと、津波が2回まで来たことを知り、とても驚きました。また、320人も避難をしたのに、全員の命を助けられた荒浜小学校はとてもすごいと思いました。カーテンを毛布がわりに使うなど、私たちも普段から対策をすべきだと思ったので、準備しようと思いました。災害は他人事ではないので、3月11日のことを次の世代に伝えていこうと思いました。



## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

#### イ) カリキュラム・マネジメントによる防災教育の実践

1年生

- ・校舎内外の防災・安全装置
- ・避難所(公民館)見学



2年生

- ・非常持ち出し袋
- ・まちたんけん
- 東日本大震災インタビュー



3年生

- ・富谷市内商店街
- 東日本大震災インタビュー
- ・ゲストティーチャー



## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

#### イ) カリキュラム・マネジメントによる防災教育の実践

4年生

- ・ゲストティーチャー
- ・土砂災害模擬実験



5年生

- ・ゲストティーチャー
- ・ローリングストック



6年生

- ・震災遺構仙台市立荒浜小学校
- ・非常持ち出し袋



## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

#### イ) カリキュラム・マネジメントによる防災教育の実践

##### 特別支援学級

- ・防災パン作り
- ・「防災ブック」にまとめる



## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

#### ウ) 12月8日(金)防災発表会(学習参観日)



(E)グループ  
メンバー

発表テーマ「防災時のマイタイムライン」

構成

- 1 はじめに(テーマ、発表の進め方) 担当
- 2 テーマ設定の理由 担当
- 3 「台風」 担当
- 4 「マイタイムラインについて」 担当
- 5 「マイタイムラインの認知度」 担当
- 6 「マイタイムラインのメリット」 担当
- 7 「マイタイムラインの作り方」 担当
- 8 まとめ 担当

まとめ

今回は、マイタイムラインについてまとめました。あまり知られていないマイタイムラインについて調べてみることで自分たちも知ることができました。これで防災マイタイムラインの発表を終わります。

エ) 業前時間 防災タイム 月ごとのテーマ 季節に応じた防災・安全・不審者 等

業間時間 地震想定訓練

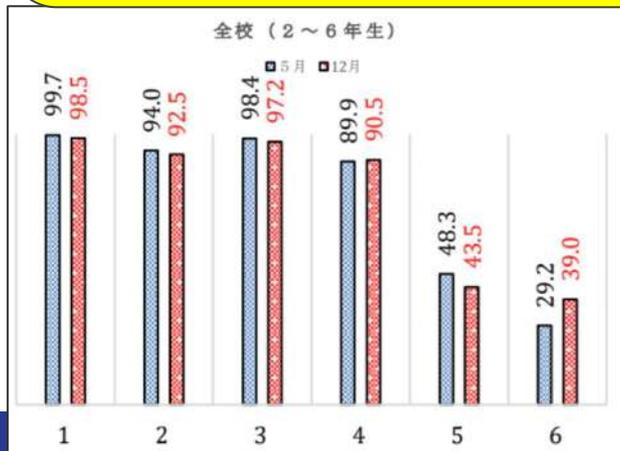
## (2) 地域連携型学校防災体制等構築推進事業における実践研究報告書

### ④ 被災地訪問等を取り入れた児童生徒の防災意識を高める防災教育の実施

#### オ) 児童アンケート(結果と考察)

##### 【設問】

- 1 自分や家族、友達の命は大切だと思いますか。
- 2 いつも、自分の体や命を大切に行動していますか。
- 3 学校で災害が起きた時、自分がどのように行動すべきか、分かっていますか。
- 4 学校以外で災害が起きた時、自分がどのように行動すべきか、分かっていますか。
- 5 災害が起きた時、自分はどのように行動すべきか、家族と話しますか。
- 6 災害が起きた時、地域の方々とのように行動すべきか、家族と話しますか。



##### 【考察】

- (1) 設問1・2について  
防災教育のみならず、道徳科をはじめとする全教育活動で高め、100を目指していきたい。
- (2) 設問3・4について  
自らの行動や意識について内省しての結果とも考えられる。
- (3) 設問5・6について  
学校と家庭が連携する視点を大切にしていきたい。

### (3) 成果(○)と課題・今後に向けて(・)

- カリキュラム・マネジメント ⇨ 防災教育を教育課程に位置付け
- 研究授業としての取り組み ⇨ 児童が「自分事として捉える事」の大切さ  
地域災害特性の理解
- 防災マニュアルや各種訓練の見直し ⇨ 実際の災害をより想定した実践
- 富谷市総合防災訓練への参加 ⇨ 児童が自らの一次避難所 地域とのつながり
  - ・ 系統的な指導計画と実践の蓄積
  - ・ 保護者や地域との連携の更なる強化(引き渡し経路・防災訓練内容の共通理解)
  - ・ 中学校区の同時引き渡し訓練(令和7年度実施)に向けての整備

ご静聴ありがとうございました。

富谷市立富ヶ丘小学校